



発行：小網代ヨットクラブ
〒238-0225
神奈川県三浦市三崎町小網代 1385-18
編集：広報委員会
編集長：里吉美恵子

小網代通信

2021年 3月号 VOL-273

今月の内容

・連絡事項	編集委員	1ページ
・「小網代ヨットクラブの会長の就任にあたって」	野村 政司(はやとり)	2～3ページ
・「小網代ヨットクラブ 副会長就任にあたり」	小川 健之(NEPTUNEXII)	3ページ

連絡事項(編集委員)

1. < 2020年度定時総会が開催されました >

2月16日(火)に開催された小網代ヨットクラブ(KYC)定時総会は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令中のためKYC初のZOOMによるオンライン総会となりました。例年総会と同日に行われていた小網代フリート総会と基金総会もオンラインで開催されております。今回は事前のオンライン参加の出欠連絡をいただいた上で、艇のオーナー(あるいは代理者)に参加いただいております。KYC定時総会は19時から開始され、議決権も投票とあわせ定数を満足し総会が成立し、各議案について審議・議決が進行しました。2020年度活動報告は、飯島(洋)前会長から説明があり、オンライン上で資料を提示、確認を取りながら行われました。本年度は会長交代の時期に当たり、その選任手続きを経て、野村政司氏(はやとり)が新会長に、副会長は小川健之氏(NEPTUNEXIII)にお願いすることが満場一致で承認されました。2021年度の活動予定は新会長から、会計報告と予算は、会計の鈴木深志氏から説明があり、各議案ともに満場一致で承認されました。会長と副会長のご挨拶は2～3ページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

2. < まだまだ続くコロナ対応について >

3月7日までとされていた1都3県の緊急事態宣言が、2週間後の3月21日(日)まで延長されることが発表されました。これを受けてKYCでは引き続き、指針に沿って対応します。艇の安全管理の目的での来訪や、新年度に向けたクラブ事務管理(会員登録管理及び会費等請求処理/3月7日実施)など、やむを得ない案件以外は、指針の通りのクラブハウス利用禁止の対応をお願いいたします。なお、トイレや手洗いの利用にあたっては、ソーシャルディスタンス、マスク着用、手指の消毒の徹底をお願いいたします。

3. < 3月KFRとアニオールズカップは緊急事態宣言延長により中止となります >

3月21日(日)のKFRは中止となりました。またKYCが支援する学生外洋連盟のアニオールズカップ(3月13日～14日開催予定でした)も中止となりました。東京大学「仰秀」が同レースに参戦のため、宣言下でも小網代で練習できるよう2月の総務委員会で事前了承を得たところでしたが、残念です。

4. < 故障していたWebカメラ(ライブカメラ)が2月に更新されました >

新しい操作感に Web サイトでご確認ください。



【小網代ヨットクラブウェブサイト情報】 URL <http://koaziroyc.jp>

【次回予定 総務委員会 3月22日(月)20:00～ web会議開催予定】

「小網代ヨットクラブ会長の就任にあたって」

KYC会長 野村 政司

このたび、小網代ヨットクラブの会長を拝命させていただきました。“はやとり”の野村です。諸先輩方、クラブの皆様、ご関係の方々からのご期待に応えるべく本年度からの任期を頑張ってお努めてまいりたいと思います、どうぞよろしくお願いいたします。

<自己紹介>

新会長はどんな人なのか？などと思われる方が多いと思います。そこで、自己紹介・経歴を紹介させていただきます。

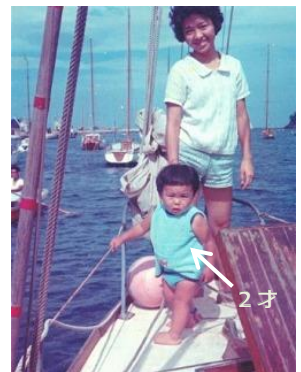
- ・名前 野村 政司 のむら せいじ
- ・所属 はやとり J-312
- ・生まれ 神奈川県 鎌倉市(現在住)54才(昭和41年12月午年)
- ・ヨット初体験「0歳／はやとり1世にて」
- ・レース委員長を2014年から2019年まで務めてさせて頂きました。

私は、親世代からのヨット好き2代目となります。右の写真は2歳(昭和43年・1968年)小網代で、はやとり1世号で撮ったものです。このころの小網代にはまだシーボニアが無いのがわかります。

子供のころは、はやとり2世の時代です。“ヨットは遊ぶところ”で両親に連れられ、釣りをしたり泊まったりして、楽しく海と接する場所でした。小網代の森は、今でこそ公園のようになっていますが、当時は道も無い湿原になっており近寄りたがたい大自然で満ちていました。小網代へいけば、テンダーで砂浜に行ってはエビやカニを、素潜りではサザエなどの貝、ウニ、タコを捕まえて日焼けて真っ黒になって遊んでいました。

学生時代はヨットから遠ざかっていましたが、社会人1年生のとき、現在の“はやとり3世”が平成元年に進水しました。これをきっかけにヨットに触れ合う機会が増え、レースやクルージングが楽しくなり、船を大切に整備しながら、はやとりの仲間たちと家族みんながヨット活動をさせてもらっています。

自然豊かな小網代で長く楽しくヨット遊びをさせてもらえたのは、小網代という風土と、オールドソルト/レジェンドの皆様が築いてきた小網代ヨットクラブがあったから、そしてクラブの皆様を支えられて来たからこそと思っています。



<抱負>

小網代は、自然豊かな海と緑に囲まれたすばらしい港です。そのような場所で、歴史ある小網代ヨットクラブの会長をさせていただくということは、非常に光栄であり、かつ責任重大と考えています。このような大役には、まだまだ経験不足で至らぬことが多々あると思いますが、副会長の小川さんや総務委員会の皆様のお力をお借りし一体になって、小網代で楽しくヨットができる環境を継続的につくっていきたくと考えております。どうぞ今後ともお願いいたします。そして、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

<お願ひ>

コロナ禍が去るのは、当面まだのようですので、感染症対策には引き続き細心の配慮をしてください。クラブ会員の皆様も今はヨット活動が不自由と思いますが、近い将来、楽しく自由にヨット活動ができるよう、3密防止、マスク、手洗いなどの感染症予防を守って行動をいただけるようお願いいたします。

.....

【KYC 新副会長ご挨拶】

「小網代ヨットクラブ 副会長就任にあたり」

NEPTUNEXII 小川 健之

このたび小網代ヨットクラブ副会長を拝命いたしました NEPTUNEXII の小川健之(おがわたけし)です。大任に身の引き締まる思いですが、長く諸先輩方が築いてこられたクラブの歴史と現在を大切に、これから繋げていくためのクラブ運営の一助となるよう、野村会長をサポートしてまいりたいと思います。

さて私こと、ヨットは大学から始めて学生時代はスナイプ級に、卒業後はシーホース級に乗っております。早いものでヨットを始めて 35 年、小網代で大学ヨット部の大先輩である古屋さんのネプチューンに初めて乗せていただいてからもう 30 年近くになりました。

大学時代にヨット部で知り合った家内も、今では海に 2 週間行かないと禁断症状が現れる重度のヨット中毒患者(?)になりました。これからもレースにクルージングに、体が続く限り「ヨット馬鹿の夫婦」を続けていきたいと思ひます。



写真上: 昨年 Melges20 にて家内と
写真右: 学生ヨット部時代 左から四人目が小生

小網代ヨットクラブの皆さま、これからもよろしくお願ひいたします。

